



重量：約725g サイズ：124(W)x96(D)x72(H)mm

電源：安定化済みのACアダプタ、またはパワーサプライ(DC9V、センターマイナス2.1mm) 消費電流：約150mA/9VDC

※内部で昇圧しており、外部昇圧には対応しておりません。9V入力を厳守して下さい。

特徴

エフェクターを接続する為のクリーンを作ることを念頭において、開発されたコンパクトプリアンプです。通常のラック型プリアンプのように、パワーアンプの前やアンプのリターンに接続して使用します。

GAINや3EQに加えて、BOOST、THIN/FAT、GLASSという、細かい音作りの助けになるようなコントロールも搭載しています。オンオフ、BOOSTは外部スイッチの接続に対応しています。

また、本体のみでもドライブサウンドを作ることは可能です。ペダルとして使用できるペダルモードも搭載しています。

使用部品にもこだわり、KORG Nutube 6P1、JRC MUSES01、Oxford Electrical Products製オーディオトランス、アルミニウム削り出し筐体等を採用しています。

ノブ

MASTER 最終的な出力音量を設定します。マスターボリューム。

BOOST 最初の増幅段の増幅率を設定します。外部接続のスイッチによって0とノブ設定値とを切り替え可能です。BOOST LEDが点灯中、ノブの設定値が有効です。外部接続スイッチなしの標準では点灯状態です。 ※GAINを設定したあとで、あと少しの飽和感が欲しいというような場合に追加するような使い方もおすすめです。

GAIN 最初の増幅段の増幅量を設定します。ギター出力によって違いがありますが、9時くらいまでがクリーン、9時～3時くらいまでがクリーンに近いクランチ、3時以降から歪みが増すというのが目安です。

TREBLE 高域の量を設定します。 **MIDDLE** 中域の量を設定します。 **BASS** 低域の量を設定します。

THIN/FAT すっきりした音と太い音のバランスを調節します。左に回すほどすっきりし、右に回すほど太くなります。 ※まず12時にした状態で3EQで音を作り、それで足りなかったらどちらかに傾けるような設定方法がおすすめです。

GLASS 超高域の量を設定します。特に歪みエフェクターを使用する場合は、ザクザクとした音色の部分の調整に役立ちます。全開から絞っていくような設定方法が分かりやすさの面でおすすめてです。 ※パワーアンプ以降の高域再生能力が低い場合は、効きが弱くなる場合があります。

ジャック

INPUT 入力端子です。

ON/BYPASS 外部のオンオフスイッチ（ラッチタイプ）を接続可能です。オン時は右側LEDが点灯状態です。オフ時はトゥルーバイパスです。モノラルジャックを使用する場合、自動的にRINGとSLEEVEが接続状態になり、ペダルモードが有効になります。ステレオジャックを使用すれば本体のオンオフとペダルモードのオンオフの両方を外部からコントロール可能です。

※ペダルモード・・・ペダルとして使用しやすいよう周波数レンジが狭まり、出力音量が低下するモードです。 ※ベースでベースプリアンプとして使用する場合は、ペダルモードはレンジが狭すぎる可能性がありますので、ベースでの使用には通常モードがおすすめです。

BOOST 外部のオンオフスイッチ（ラッチタイプ）を接続可能です。オン時はBOOSTノブの設定量が適用され、左側LEDが点灯します。オフ時はBOOSTノブを絞り切った状態の値が適用され左側LEDが消灯します。

OUTPUT 出力端子です。通常モードではラインレベル出力、ペダルモードではインストゥルメントレベル出力です。

9VDC 安定化済みのACアダプタまたはパワーサプライ(DC9V、センターマイナス2.1mm)を接続します。 ※ 内部で昇圧しており、外部昇圧には対応しておりません。9V入力を厳守して下さい。

◎使用上の注意

【電源】

◆ACアダプター使用可能機種の場合 ※火災、感電の原因になる場合があります。

- ・安定化済みACアダプタ(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)をお使い下さい。
非安定化アダプタなどを使用するとノイズや故障の原因になる場合があります。
- ・ACアダプタの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときはACアダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器(パワーサプライ)を使用される際は、次の事柄に注意してください。
故障の原因になる場合があります。

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に1つ以上のエフェクターに接続されている場合、
パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース(外装)に接触させないで下さい。
一度電源供給器(パワーサプライ)をオフしてから接続して下さい。

【扱い】

- ・使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。
- ・製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。
また、音質や音色が損なわれる可能性があります。
- ・製品を落したり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。
- ・トゥルーバイパスの機種は、INPUTとOUTPUTを逆に接続してもOFF時には音が出ます。お気を付け下さい。

◎保証規定

保証期間内に当社の責任による故障が生じた場合は無償にて修理させていただきます。
ただし下記に示す場合は有償修理となります。

上記「使用上の注意」が守られなかった場合/消耗部分の交換/お買い上げ後の移動輸送時の事故
/災害や天災による損傷/保証書に販売年月日、販売店名の記載がない場合/接続していた他機器の影響による損傷

※保証修理の場合は必ず本取扱説明/保証書を同梱頂きますようお願い致します。